2021年度 環境経営レポート

＜　対象期間：2021年10月　～　2022年9月　＞

株式会社アンフィニ広島
エコアクション２１推進事務局

発行日：2022年12月12日

（株）アンフィニ広島の環境経営方針

＜基本理念＞

私たち株式会社アンフィニ広島は、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

＜行動指針＞

1. 環境に関する法規制等を遵守し、環境保全のレベル向上を図ります。
2. 限りある資源を大切にするため、省資源、省エネルギーや化学物質の適正管理等、環境に配慮した事業活動を推進します。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
5. 環境に配慮した製品の提供、及びグリーン購入を推進します。
6. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
7. 事業所周辺の清掃活動やｸﾘｰﾝｷｬﾝﾍﾟｰﾝにより、地域の環境改善に貢献します。
8. 全従業員に、この環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

2011年11月1日制定
2019年12月1日改定

代表取締役　土田　和正

◆　事業活動の概要

１．事業所名および代表者

株式会社アンフィニ広島
　　代表取締役　　土田　和正

２．所在地

広島市南区大州１丁目３－４４

３．事業内容

・自動車(新車・中古車）の販売ならびに整備全般
・自動車部品・用品の販売
・損害・生命保険等の各種代理店業務　等

４．事業の規模

1) 従業員数（嘱託・パート・派遣社員含む）　373　人　(2022年9月30日時点)
　年間売上高　100 億円　(2022年9月末決算期)
　年間販売台数（新車・中古車）　5,659　台　(2022年9月末決算期)

2）店舗数　広島県内に本社他１９拠点

・大州店　・矢賀店　・吉島店　・元宇品店　・東雲店
・瀬野川店、瀬野川工場　・廿日市店　・大竹店　・庚午店
・安古市店　・東広島店　・八本松店　・広店　・呉店
・東尾道店　・蔵王店、福山ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ　・三次店　・西風新都店
・矢野ｵｰｸｼｮﾝｾﾝﾀｰ　・業務ｾﾝﾀｰ(本社事務所)

５．エコアクション活動の対象範囲

全活動・全組織

６．環境管理責任者および担当者

環境管理責任者	取締役管理本部長	永井　錠仁
EA21推進事務局	人事・財務部(部長)	永井　錠仁
	総務部　(部長)	橋岡　学
	カスタマーサービス部(部長)	高田　佳和
	〃　(課長)	原山　裕二

担当連絡先　TEL: (082)286-4103
FAX: (082)286-4127
e-mail: info@efh.co.jp

◆　店舗･事業所の一覧

(2022年9月30日現在)

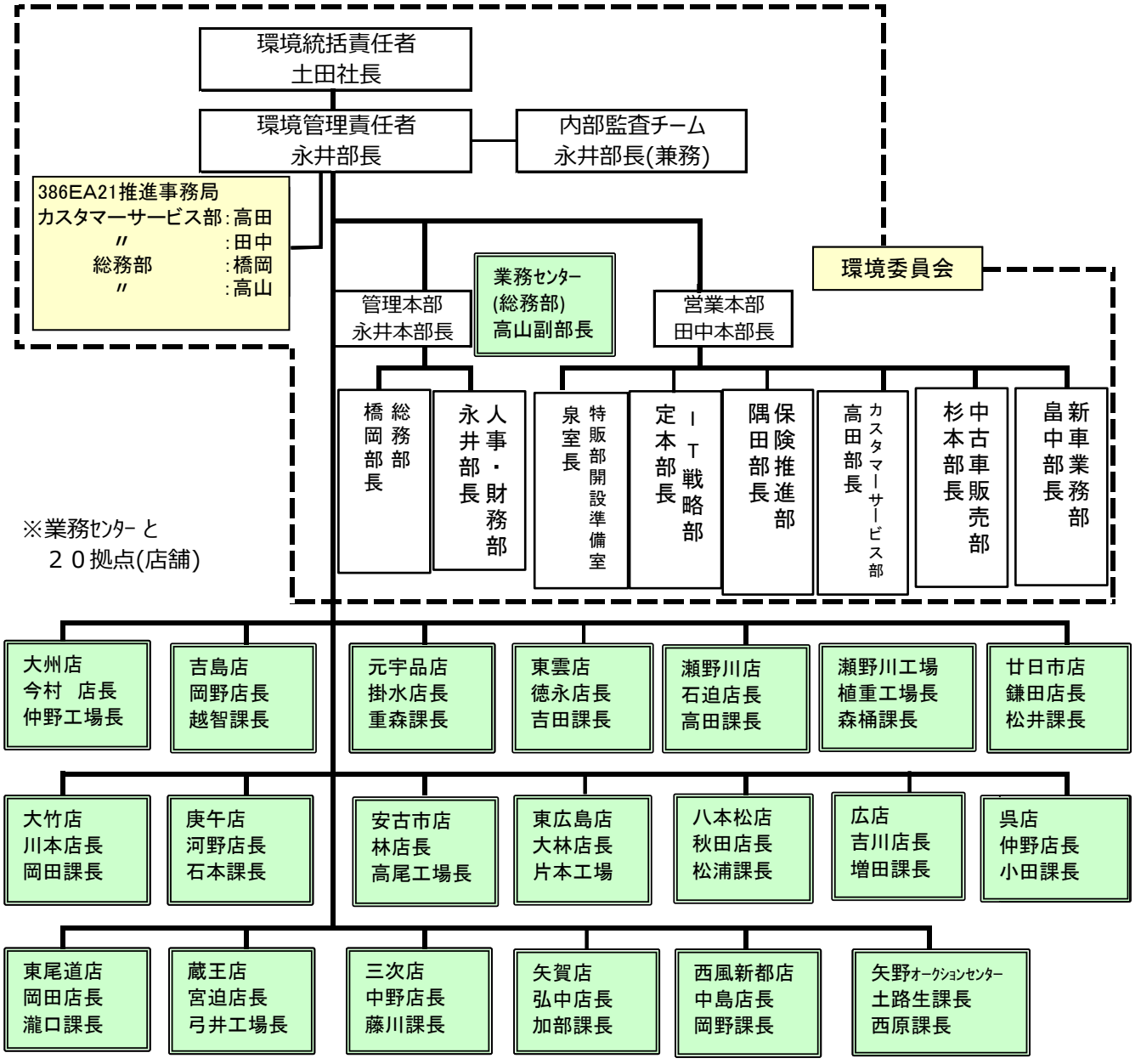
	対象	店舗名･事業所名	郵便番号	所在地（住所）	人数
1	○	大州店	７３２－０８０２	広島市南区大州１丁目３－４４	44
2	○	矢賀店	７３５－００２１	安芸郡府中町大須２丁目３－８８	11
3	○	吉島店	７３０－０８１４	広島市中区羽衣町９－５	13
4	○	元宇品店	７３４－００１２	広島市南区元宇品町４１－２１	12
5	○	東雲店	７３４－００２４	広島市南区仁保新町１丁目１－２７	13
6	○	瀬野川店 瀬野川工場※	７３９－０３２１	広島市安芸区中野１丁目８－１０	24
7	○	廿日市店	７３８－００２４	廿日市市新宮１丁目１４－１２	24
8	○	大竹店	７３９－０６２３	大竹市小方１丁目１－１０	10
9	○	庚午店	７３３－０８２１	広島市西区庚午北１丁目５－１９	14
10	○	安古市店	７３１－０１２１	広島市安佐南区中須２丁目１－１０	29
11	○	東広島店	７３９－００１４	東広島市西条昭和町１１－２１	28
12	○	八本松店	７３９－０１４２	東広島市八本松東６－８－２	8
13	○	広店	７３７－０１４３	呉市広白石２丁目６－３５	10
14	○	呉店	７３７－０８１１	呉市西中央３丁目１－３３	11
15	○	東尾道店	７２２－００５１	尾道市東尾道１９－９	11
16	○	蔵王店 福山ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ※	７２１－０９７３	福山市南蔵王町５－１８－４１	21
17	○	三次店	７２８－００１７	三次市南畑敷町１３７－２	9
18	○	西風新都店	７３１－３１６８	広島市安佐南区伴南１－４－１４	8
19	○	矢野オークションセンター	７３６－００８４	広島市安芸区矢野新町２－４－２４	12
20	○	業務センター(本社)	７３２－０８０２	広島市南区大州５丁目５－３７	61

(注) ※：瀬野川工場は瀬野川店と、福山ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰは蔵王店と一体とみなして一つの活動に含めています。

(合計　373)

（安古市店）

◆ 全社取り組み体制



＜主な役割＞

環境統括責任者 ＜社長＞	環境マネジメントシステム（EA21）に関する統括責任者 ・環境管理責任者の任命、環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標の設定承認、環境経営レポートの承認、代表者による全体の評価と見直し実施
環境管理責任者 ＜部長＞	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する ・環境経営計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告、環境経営レポートの確認
ＥＡ21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全社の環境取組を推進する ・店舗の環境取り組みの指導・支援、環境データの集計・取りまとめ ・EA提案制度の運営、審査　・環境委員会の事務局
部門長	・環境委員会のメンバーとして、全社の環境取り組みを推進する ・担当部門の環境取り組みの責任者
店長 工場長 ｻｰﾋﾞｽ責任者	・店舗の環境取り組み全体の責任者として、店舗環境取組の推進・管理 ・工場の環境取り組み全体の責任者として、店舗環境取組の推進・管理 ・ｻｰﾋﾞｽ領域の環境取り組みに責任を持つとともに、店舗全体の環境取り組みにおいて店長をサポートする
内部監査ﾁｰﾑ	・内部監査を実施
環境委員会	・原則として月1回開催し、環境経営計画の進捗状況のフォロー及び全社環境取組みを推進する ・EA21推進事務局に環境取組みの推進に関してのアドバイスをする

◆ 環境負荷の現状

【事業の規模】

活動規模	単位	2019年度 2019/10～2020/9	2020年度 2020/10～2021/9	2021年度 2021/10～2022/9
年間販売台数	台	6,448	6,017	5,659
年間売上高	百万円	10,111	9,913	10,046
従業員数	人	379	386	373
店舗等数	店	20	20	20
資本金	百万円	90	90	90
役員数	人	12	11	12

※(注)：当社の事業年度は、10月1日～翌年9月30日で、各項目の数値は事業報告書からの抜粋です。

【事業の内容】

・自動車(新車・中古車）の販売ならびに整備全般
・自動車部品・用品の販売
・損害・生命保険等の各種代理店業務
・各種関連商品（カープチケット等）の販売

【環境負荷の現状】

(全店舗合計)

項　目		単位	2019年度 2019/10～2020/9	2020年度 2020/10～2021/9	2021年度 2021/10～2022/9	前年比
電力CO2排出量		Kg-co2	868,228	743,635	837,941	+94,306
化石燃料CO2排出量		Kg-co2	428,376	400,684	382,782	▲17,902
都市ガスＣＯ2排出量		Kg-co2	15,263	13,115	12,895	▲220
ＣＯ2総排出量		Kg-co2	1,311,867	1,157,434	1,233,618	+76,184
電力使用量		kWh	1,666,460	1,427,322	1,546,017	+118,695
化石燃料	ｶﾞｿﾘﾝ使用量	ℓ	109,143	103,409	97,473	▲5,936
	軽油使用量	ℓ	67,893	62,315	60,714	▲1,601
都市ガス使用量		㎥	6,665	5,727	5,631	▲96
廃棄物	一般廃棄物	Kg	19,563	17,967	15,455	▲2,512
	産業廃棄物	Kg	294,195	285,858	284,314	▲1,544
水道	上水道使用量	㎥	15,896	15,107	13,313	▲1,794
生産量・販売量	(新・中)販売台数	台	6,448	6,017	5,659	▲358
	(SKYACTIV車)／内数	(台)	(2,058)	(1,917)	(2,049)	+132
	法定12ヶ月点検	台	12,748	12,849	12,392	▲457
	ﾊﾟｯｸdeﾒﾝﾃ件数	件	4,580	5,445	6,802	+1,357
ｺﾋﾟｰ用紙購入量		Kg	9,952	11,114	11,642	+528

※注1　：「電力CO2排出量」は2021年度中国電力調整後排出係数0.542kg-CO2/kWhを使用
「都市ガスCO2排出量」は広島ガスの排出係数2.29kg-CO2/㎥を使用。
注2　：ﾊﾟｯｸdeﾒﾝﾃとは、新車・中古車販売時に定期的な点検整備を予約(ﾊﾟｯｸ)販売して、
お客様のｸﾙﾏのｺﾝﾃﾞｨｼｮﾝを良好に維持する環境に配慮したﾒﾝﾃﾅﾝｽｻｰﾋﾞｽです。

◆ 環境経営目標

株式会社アンフィニ広島は

中長期的な環境経営目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。

環境負荷の中で特に影響が大きいと思われる、「電力」、「化石燃料」、「都市ガス」、「廃棄物」、「水道水」の削減に重点を置いて取り組みます。

また、環境に配慮したエコカーの販売とメンテナンスサービスの提供では、「低燃費でｸﾘｰﾝな車(SKYACTIV車)」の販売増と「法定12ケ月点検」「ﾊﾟｯｸdeﾒﾝﾃ」の入庫獲得に取り組みます。

	環境経営方針	環境経営目標項目	基準値 (基準 2019年度)		環境経営目標 2020年度	環境経営目標 2021年度	環境経営目標 2022年度
二酸化炭素排出量	CO2排出量の削減	二酸化炭素の削減	1,311,867 kg-CO2	基準年度比	99.0%	98.0%	97.0%
				目標値	1,298,748 kg-CO2	1,285,629 kg-CO2	1,272,510 kg-CO2
		電力使用量の削減	1,666,460 kWh	基準年度比	99.55%	99.10%	98.50%
				目標値	1,658,961 kWh	1,651,462 kWh	1,641,463 kWh
		化石燃料の削減	(ｶﾞｿﾘﾝ) 109,143 ℓ	基準年度比	99%	98%	97%
				目標値	108,052 ℓ	106,960 ℓ	105,869 ℓ
			(軽油) 67,894 ℓ	基準年度比	99%	98.5%	98%
				目標値	67,215 ℓ	66,876 ℓ	66,536 ℓ
		都市ガス使用量の削減	6,665 ㎥	基準年度比	99%	98.5%	97%
				目標値	6,598 ㎥	6,532 ㎥	6,465 ㎥
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	19,563 kg	基準年度比	99%	98%	97%
				目標値	19,367 kg	19,172 kg	18,976 kg
		産業廃棄物の削減	294,195 kg	基準年度比	99%	98%	97%
				目標値	291,253 kg	288,311 kg	285,369 kg
総排水量(節水)		水使用量の削減	15,896 ㎥	基準年度比	99%	98%	97%
				目標値	15,737 ㎥	15,578 ㎥	15,419 ㎥
紙資源削減		コピー用紙の削減	9,952 kg	基準年度比	99%	98%	97%
				目標値	9,852 kg	9,753 kg	9,653 kg
環境に配慮したエコカーの販売とﾒﾝﾃﾅﾝｽｻｰﾋﾞｽの提供		法定12ヶ月点検の整備台数増加	(事業計画に準ずる) 12,748 台	基準年度比	(計画)	(計画)	(計画)
				目標値	13,844 台	12,953 台	12,953 台
		ﾊﾟｯｸdeﾒﾝﾃの件数獲得増加	(事業計画に準ずる) 4,580 台	基準年度比	(計画)	(計画)	(計画)
				目標値	7,713 台	8,088 台	7,917 台
		「SKYACTIV車」販売台数の増加	(事業計画に準ずる) 2,058 台	基準年度比	(計画)	(計画)	(計画)
				目標値	2,160 台	2,265 台	2,471 台
グリーン購入		事務用品グリーン購入品の積極採用	本部一括購入品選定の際、積極的に採用する				
化学物質の削減		トルエン・キシレンの取扱	適正管理に努める				

※注1：「電力CO2排出量」は2021年度中国電力調整後排出係数0.542kg-CO2/kWhを使用
「都市ガスCO2排出量」は2021年度広島ガスの排出係数2.29kg-CO2/㎥を使用。

注2 ：ﾊﾟｯｸdeﾒﾝﾃとは、新車・中古車販売時に定期的な点検整備を予約(ﾊﾟｯｸ)販売して、お客様のｸﾙﾏのｺﾝﾃﾞｨｼｮﾝを良好に維持する環境に配慮したﾒﾝﾃﾅﾝｽｻｰﾋﾞｽです。

注3 ：ｴｺｶｰの販売とﾒﾝﾃﾅﾝｽｻｰﾋﾞｽの目標台数は、事業計画に準じています。

◆ 環境経営計画

店舗での活動が定着・維持されるように、店長が『活動状況チェックリスト』を使用して、毎月の活動進捗と活動が＜出来たかどうか＞をチェックします。

	活動内容		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活動計画	CO2排出量削減	エネルギー使用量の把握	継続実施											
	電力使用量削減	屋外照明の点灯・消灯時刻設定	継続実施											
		不要な照明の消灯・節電の徹底	継続実施											
		冷暖房の温度設定＆確認		継続実施						継続実施				
		エアコンフィルターの清掃		●	継続実施				●		継続実施			
		待機電力オフの実施	継続実施											
	化石燃料使用量削減	エコドライブの実践	エコドライブ10の実践					継続実施						
		社用車燃費向上の実施	継続実施											
	都市ガス使用量削減	冷暖房の温度設定＆確認	継続実施											
	廃棄物排出量の削減	廃棄物廃棄量の把握	継続実施											
	産業廃棄物の排出量削減	産業廃棄物の分別と適正処理	マニフェストの適正処理					継続実施						
		産廃置場の清掃・維持管理	4S活動の推進					継続実施		点検				
	一般ゴミの排出量削減	一般ゴミの分別徹底、リサイクル促進	継続実施											
		一般ゴミの計量と記録実施	継続実施											
		コピー用紙使用量の削減	継続実施											
	水使用量の削減	漏水の定期確認	水道メーターチェック					継続実施						
		節水の励行、洗車ホース改善	継続実施							点検				
	化学物質の適正管理	BP工場の有害物質管理の徹底	継続実施											
	環境に配慮したｴｺｶｰの販売と、ﾒﾝﾃﾅﾝｽｻｰﾋﾞｽの提供。	低燃費でｸﾘｰﾝｴﾝｼﾞﾝ搭載車の販売	SKYACTIV車の販売					継続実施						
		環境に配慮したﾒﾝﾃﾅﾝｽｻｰﾋﾞｽの提供	法定12ケ月点検、ﾊﾟｯｸdeﾒﾝﾃ					継続実施						
	グリーン購入の推進	ｴｺﾏｰｸ付きエコ事務用品の積極採用	エコ事務用品購入					継続実施						
	地域貢献活動	地域イベント、清掃活動等への参加	継続実施											
		地域教育機関などからの受け入れ	随時受入れを検討					継続実施						
教育・訓練	緊急事態への対応訓練	オイル流出事故の対応訓練												●
		消防(通報・避難・消火)訓練		●										
	環境知識の向上	店舗推進者教育					●			●				●
		新人研修							●					

◆　環境経営活動実施状況

ＣＯ2排出量削減

◆　毎月の電気使用量、化石燃料使用量、都市ガス使用量の削減がCO2排出量削減に繋がることを意識付けています。

電力使用量削減

◆　身近な節電活動として以下の取り組みを展開・推進

・事務所の不要照明などの消灯確認　⇒　各所の照明ｽｲｯﾁに節電の表示

・ｼｮｰﾙｰﾑの照明は最小限点灯を励行　⇒　ｽｲｯﾁに点灯箇所を表示

・退社時の待機電力節電を徹底　⇒　ｺﾋﾟｰ機、ｼｭﾚｯﾀﾞｰ、ﾌﾟﾘﾝﾀｰ、電気給湯器のｽｲｯﾁｵﾌ

・ﾒｼﾞｬｰｻｲﾝ等の屋外照明は21時消灯、点灯は季節に合せて全店が時刻を統一

・空調機の冷暖房温度を設定&確認⇒　ｼｮｰﾙｰﾑの冷房25℃、暖房25℃が目安
事務所 の冷房28℃、暖房22℃が目安

・ｸｰﾙﾋﾞｽﾞを5月～10月末まで導入して冷房温度を調整

・ｴｱｺﾝﾌｨﾙﾀｰは稼動時期の前(5、11月)に清掃を実施

・自動販売機は照明の消灯を実施

（空調温度の表示）

（空調温度の表示）

化石燃料使用量の削減

◆　エコドライブ10のすすめを実践し習慣化する

・職場に「エコドライブ10のすすめ」を掲示して意識付け

・社用車の確実な整備、不要な荷物積み込みの防止

（エコドライブ10のすすめ）

◆　環境経営活動実施状況

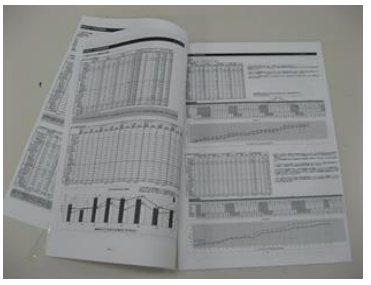
◆　廃棄物排出量の削減

・一般ｺﾞﾐの分別排出の徹底と、計量・記録による削減意識の定着

・ｺﾋﾟｰ用紙の裏紙使用、印刷ﾐｽの防止、定例会議資料の両面ｺﾋﾟｰ、社内帳票の電子化

（ゴミの分別）

（会議資料両面印刷）



・産業廃棄物の適正処理の徹底　⇒　ﾏﾆﾌｪｽﾄの適正な運用管理

・産廃置場の分別廃棄表示と４Ｓの徹底

（廃棄物の分別）

（産廃置場の表示）

◆　水使用量の削減

・漏水防止のために毎月水道メーターで漏水確認

・洗車用ホースにストップノズルを取り付けムダな水を流さない

・洗車場の蛇口周辺に「節水」の掲示をして意識の向上を図る

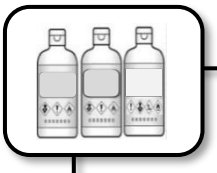
(ストップノズル装着の徹底)

◆　環境に配慮したエコカーの販売とメンテナンスサービスの提供、グリーン購入の促進

・低燃費でｸﾘｰﾝな車(SKYACTIV車)の販売促進、代替促進による低燃費車比率を拡大

・法定12ケ月点検の整備入庫促進、ﾊﾟｯｸdeﾒﾝﾃの積極的な提案・販売で、お客様のｸﾙﾏのｺﾝﾃﾞｨｼｮﾝ向上を図る

・ｴｺﾏｰｸ商品など環境ﾗﾍﾞﾙ取得商品の購入促進



◆　化学物質の適正管理

・BP工場(瀬野川工場)が使用する有害物質等の適正な管理を実施する

◆　環境経営活動実施状況

◆　教育・訓練

・ｵｲﾙ流出を想定した緊急対応訓練の実施(9月)
・防火(通報・避難・消火)訓練の実施(11月)
・活動推進者への教育(2、5、9月)、新入社員研修の実施(4月)

緊急対応訓練の様子

◆　地域貢献活動

・**地域ｲﾍﾞﾝﾄ(一斉清掃、ｸﾘｰﾝﾃﾞｨ、お祭り等)への参加、店舗周辺の清掃活動を実施。**
・各地域の小学生～大学生のインターンシップや職場体験学習の受入れ。
・「アースアワー2021」・「ライトダウンキャンペーン2021」に全店舗が参加し
　20:00～22:00　屋外照明の消灯実施。

店舗周辺の清掃活動

◆　環境経営活動取組み結果と評価

1. 2021年10月～2022年9月　活動期間の実績

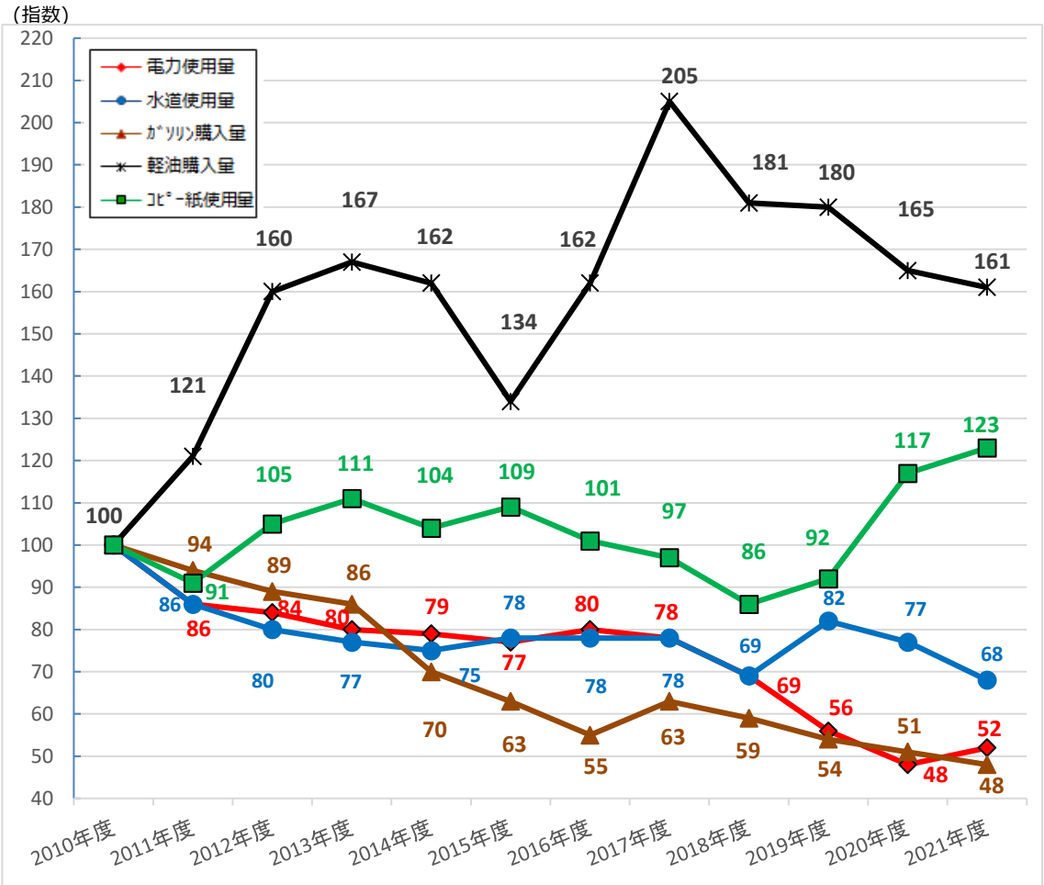
項　目		単位	基準年度 2019年度	2021年度 目標値		2021年度 実績	達成状況	評価
二酸化炭素	電力CO2排出量	Kg-co2	868,227	▲0.90%	860,414	837,941	達成	電力は設備機器更新を推進し目標達成。照明LED化2店舗。 ・ガソリン・軽油は社用車運用を効率化し削減することで給油量削減でき目標達成。 ・都市ガス利用は広店のみ、店舗の節電取組効果により継続して目標達成。 ・全ての項目で目標達成。
	ｶﾞｿﾘﾝCO2排出量	Kg-co2	253,211	▲2.0%	248,146	226,139	達成	
	軽油CO2排出量	Kg-co2	175,166	▲1.5%	172,538	156,643	達成	
	都市ガスCO2排出量	Kg-co2	15,263	▲2.0%	14,964	12,895	達成	
	ＣＯ2総排出量	Kg-co2	1,311,867	▲1.6%	1,296,062	1,233,618	達成	
電力使用量		kWh	1,666,460	▲0.90%	1,651,462	1,546,017	達成	・上記の通り、設備機器更新で目標達成。 ・その他の店舗では空調のこまめな温度調節や不要な照明の消灯や調整を行ない目標達成。
化石燃料	ｶﾞｿﾘﾝ使用量	ℓ	109,143	▲2.0%	106,960	97,473	達成	・ガソリン・軽油は社用車の運用を効率化し、削減することで目標達成。
	軽油使用量	ℓ	67,894	▲1.5%	66,875	60,714	達成	
都市ガス使用量(広店空調設備)		㎥	6,665	▲2.0%	6,535	5,631	達成	・昨年空調機更新。不必要な使用を避け、昨年比でも使用量削減に成功。
廃棄物	一般廃棄物	Kg	19,563	▲2.0%	19,171	15,455	達成	・一般廃棄物・産業廃棄物とも、月間の排出量目標を達成できなかった月はあるものの、通年の目標は達成。
	産業廃棄物	Kg	294,195		288,311	284,314	達成	
水道	上水道使用量	㎥	15,896	▲2.0%	15,578	13,313	達成	・各店舗での節水意識浸透により、通年目標達成。
資源使用	ｺﾋﾟｰ用紙使用量	Kg	9,952	▲2.0%	9,753	11,642	未達	・各店、削減に取り組むも、使用帳票の変更等により、用紙使用量が増加。
化学物質	トルエン・キシレンの取扱	－	適正管理	－	適正管理	適正管理	-	・関連諸法に則り、適正な管理を実施。
環境配慮のｴｺｶｰ販売とﾒﾝﾃﾅﾝｽｻｰﾋﾞｽの提供	新車販売台数	台	2,322		3,555	2,870	未達	・新車販売台数実績は対前年比増だが、目標達成ならず。新型車CX-60(PHEV)も発売延期につき今期に間に合わず。
	(SKYACTIV車)内数	台	(2,058)		(2,265)	(2,049)		
	法定12ヶ月点検台数	台	12,748		12,953	12,392	未達	・法定12ヶ月点検の入庫数は前年比減。PDMは目標未達なるも、前年比増。定期的なメンテナンスで燃費向上寄与、環境面、SDGsから、今後も継続。
	ﾊﾟｯｸdeﾒﾝﾃ(PDM)件数	台	4,580		7,917	6,802		
ｸﾞﾘｰﾝ購入	ｴｺﾏｰｸ事務用品購入	-	適正管理		適正管理	適正管理	-	・費用対効果を検証しながら積極的な購入を推奨。

※(注1)：「電力CO2排出量」は2021年度中国電力調整後排出係数0.542kg-CO2/kWhを使用
「都市ガスCO2排出量」は2021年度広島ガスの排出係数2.29kg-CO2/㎥を使用。

◆　環境経営活動取組み結果と評価

2. 2010年度～2021年度の活動項目ごとの削減効果推移グラフ

取組を開始した2010年を100として各活動項目の増減を指数で表した



- 2店舗のLED照明化をするも、前年比4ポイント増。2023年1月からの電力会社主催の節電プログラムに参加し、節電意識を高めていく予定。
- 水道水使用量については、店舗内での節水意識も高く前年比▲9ポイント減少。
- ガソリン購入量・軽油購入量については、整備時の来店促進等による代車への給油減少の他、試乗車配車の効率化を図ったことにより、ガソリンが前年比▲3ポイント、軽油が▲4ポイント減少しました。
- ｺﾋﾟｰ用紙使用量については、前年比6ポイント増加。不要なコピーを避ける、内部文書は両面印刷に加え、購入量の制限等も今後検討課題としていきます。

3. 次年度取組み計画

(1)環境経営方針　2019年12月1日に改定した環境経営方針の従業員への浸透を図ります。

(2)環境経営目標　このまま継続しますが、「環境に配慮したエコカー販売・メンテナンスサービスの提供」については事業計画を反映して毎年ローリング(見直し)を行います。現在はSKYACTIV車の販売台数を目標設定しておりますが、EV・PHEV・マイルドハイブリッド車等のラインナップも増えており、次年度以降については、対象の変更を検討中です。

(3)環境経営計画書　このまま継続しますが、以下の項目については取組み内容を工夫します。

①電力使用量の削減　・現在実践している日常の節電活動の定着化を図る
特に、新入社員など若年層社員への浸透に重点を置く
・設備更新が完了しつつあり、今後は節電意識をさらに高めていく必要が

②廃棄物排出量の削減　・一般ごみの排出量の計量と記録を継続する
・産業廃棄物置場の整備と４Ｓ活動を推進する

③水使用量の削減　・現在実践している節水活動の定着化を図る
・老朽化して水使用効率の悪い自動洗車機を計画的に更新する

④ｺﾋﾟｰ紙使用量の削減　・不要な情報の印刷禁止と内部文書の両面コピー推進を周知・徹底。

⑤改善提案制度の継続　・環境経営活動への意識向上を目指し、環境改善の提案促進を全社員に継続して推進する。
※２ヶ月毎の改善テーマを設け優秀表彰を実施中。

◆　原単位評価

・原単位評価とは・・・

一定量の生産物をつくるために使用する、または排出するものや時間などの量のことです。

省エネでは、各種エネルギーの生産効率（どれだけ効率よく生産が行われたか）を示す値として「エネルギー原単位」が用いられます。

・下表では・・・

①電気使用量(kwh)÷新中車販台数(台)＝原単位

②電気使用量(kwh)÷有償整備入庫台数(台)＝原単位

原単位の数値が低い方が、少ないエネルギー(電気)で効率的に成果(台数)を上げられたと仮定して、順位で表しています。

（2021年度 "①②順位平均"順）

	原単位	2021年度(66期通期)							
	店舗	電気(kwh)	①車両販売			②有償整備			①②平均順位
			販売(台)	原単位(khw/台)	順位	入庫(台)	原単位(khw/台)	順位	
1	吉島	26,914	182	**148**	**1**	5,015	**5.4**	**1**	**1.0**
2	矢賀	28,579	118	**242**	**2**	4,261	**6.7**	**2**	**2.0**
3	八本松	23,547	59	**399**	**6**	2,550	**9.2**	**3**	**4.5**
4	東広島	79,236	216	**367**	**5**	8,096	**9.8**	**4**	**4.5**
5	東雲	55,380	170	**326**	**4**	5,016	**11.0**	**5**	**4.5**
6	西風新都	44,354	100	**444**	**7**	3,675	**12.1**	**6**	**6.5**
7	大州	183,092	698	**262**	**3**	12,242	**15.0**	**11**	**7.0**
8	庚午	64,597	133	**486**	**10**	4,863	**13.3**	**7**	**8.5**
9	呉	49,342	85	**493**	**11**	3,605	**13.7**	**8**	**9.5**
10	廿日市	105,269	224	**470**	**9**	7,168	**14.7**	**10**	**9.5**

◆　環境関連法規の遵守状況及び違反・訴訟の有無

■適用される環境関連法規の確認

（確認：2022年8月8日～25日）

環境関連法規等	法令要求事項	適用される施設等	証拠又は確認方法	評価
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	・産業廃棄物の保管基準および保管 ・産業廃棄物の収集運搬、最終処理業者との委託契約 ・マニフェスト管理の遵守 ・管理票交付状況等報告	産業廃棄物置場 委託契約書	現物目視 マニフェスト 契約書、許可証	適合
騒音規制法	・特定施設（コンプレッサー）の届出 （定格出力3.75kw以上は届出必要）	コンプレッサー	大州店／届出済み 東広島店／　〃	適合
振動規制法	・特定施設（コンプレッサー）の届出 （定格出力7.5kw以上は届出必要）	コンプレッサー	（届出対象なし）	適合
自動車リサイクル法	・引き取り業者の登録	使用済み自動車	届出控 実態観察	適合
フロン排出抑制法	・事務所・店舗のエアコンの簡易点検と記録 ・自動車整備の際の遵守事項	空調機 カーエアコン	簡易点検ﾁｪｯｸｼｰﾄ 委託確認書	適合
水質汚濁防止法	・特定施設(自動洗車機)の届出	自動洗車機 油水分離槽	届出控 実態観察	適合
下水道法	・特定施設(自動洗車機)の届出	自動洗車機 油水分離槽	届出控 実態観察	適合
浄化槽法	・浄化槽の設置届出(八本松店、広店、東尾道店、三次店) (年1回　定期検査の実施と記録の保管)	浄化槽	検査記録	適合
消防法 (危険物の規制に関する政令)	・一定規模以上の事業所は防火管理者の届出 ・少量危険物貯蔵・取扱所の届出	油庫／油脂庫 廃油(地下)ﾀﾝｸ 消防用設備	「危険物」の標識 届出控 実態観察	適合
大気汚染防止法	・局所排気装置の施設の届出	BP(瀬野川工場) 塗装ﾌﾞｰｽ、調色室	届出控	適合
労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則)	・局所排気装置の施設の届出　、　作業主任者の届出 ・６ヵ月ごとに作業環境測定実施⇒記録は30年間保存	BP(瀬野川工場) 塗装ﾌﾞｰｽ、調色室	届出控 作業環境測定結果	適合
特定化学物質障害予防規則 (特化則)	・作業主任者の選任 ・６ヵ月ごとに作業環境測定実施⇒記録は30年間保存	BP(瀬野川工場) 塗装ﾌﾞｰｽ、調色室	届出控 作業環境測定結果	適合

・各店舗については「環境関連法規等遵守状況チェック表」で2022年8月8日～25日に法令遵守状況を確認しています。

■環境関連法規への違反・訴訟の有無

当社における、環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は無く関係機関からの指摘も受けておりません。
また、同様に、地域・近隣住民の方からの訴訟もありませんでした。

◆　代表者による全体の評価と見直し

⑮

活動期間	2021年10月1日～2022年9月30日

作成者	環境管理責任者：　永井　錠仁

見直し関連情報		項目	確認	評価・コメント
	1	エコアクション21文書	○実施 □未実施	特になし
	2	環境経営目標及び目標達成状況	○実施 □未実施	電力使用量、化石燃料、都市ガス使用量、廃棄物排出量、水道水使用量の目標達成は評価出来る。しかしコピー用紙使用量は最近3年間増加しており、対策が必要。
	3	環境経営活動計画及び取組実施状況	○実施 □未実施	従業員にエコアクション21の活動を更に浸透させることと、店舗が継続的に活動を展開するため、引き続き臨店指導を実施する。
	4	環境関連法令一覧表及び遵守状況	○実施 □未実施	設備や機器の更新に際して社内に案内し、法令違反が無い状態を維持するよう臨店指導することが重要。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	○実施 □未実施	マツダ㈱よりグループ内他社の情報を収集して、当社の活動に反映すること。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	○実施 □未実施	是正すべき問題点が顕在化した場合の対処方法、環境事故対応訓練など、緊急事態に備えた訓練や意識付けを怠らないよう指導継続する。
	7	取引先・業界・関係行政機関 その他の外部動向	○実施 □未実施	特に無し。事務局はグループ他社の動向を引き続き把握して法令遵守に努める。
	8	その他（内部監査等）	○実施 □未実施	社内の経営会議等に積極的に情報を提供し、EA21活動について、社内全体の更なる理解を深めて改善する。

評価者	代表取締役　土田　和正	実施日	2022年12月9日

全体評価・コメント(環境経営システムへの有効性・環境への取組みの適切性等)

環境問題に取り組む活動は、企業の社会貢献活動のみならず、SDGｓの考えに基づいた地域貢献活動における大きな役割を持つことを認識し、当社の重要な企業活動の一つとして考えている。また、その活動により、地域とのつながり強化や社員の意識変革、経費削減につなげ、結果として経営に資することになる。社内への呼びかけにより、エコアクション２１活動は認知され、継続的な成果を上げているので、改善を加えながら、引き続き活動を続けて欲しい。自動車業界を取り巻く環境も変化している最中であり、今後とも変化に対応しながら取り組みを継続することが不可欠と考える。
また、環境問題を引き起こすことがないよう、環境法令の遵守と設備の点検・更新は欠かさず実践し、環境汚染や事故による環境リスクの未然防止に努めること。

代表者による全体評価・見直し		見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1	環境経営方針	□有 ○無	2019年12月1日改定の環境経営方針を実践し、働きやすい職場づくりに努力する。
	2	環境経営目標	□有 ○無	現在同水準の目標を継続する。
	3	環境活動計画・取組項目	□有 ○無	前年度活動に準じた活動を継続する
	4	実施体制	□有 ○無	前年度活動に準じた実施体制を継続する。
	5	その他のシステム要素	□有 ○無	前年度活動に準じたシステムを継続する。
	6	その他（外部への対応）	□有 ○無	前年度活動に準じた対応を継続すること。

PUT ON!

その想いを乗せていく。

アンフィニ広島